

# まちの話 だい

## 4月7日 | 看護の道への第一歩

島田市立看護専門学校第29回入学式が行われ、男性5人を含む計40人の看護師の卵が入学しました。

新入生代表の佐藤有彩<sup>さとうありさ</sup>さんは「患者様に信頼され、目配り・気配り・心配りをし、笑顔と優しさを絶やすことのない看護師を目指し精進してまいります」と力強く宣誓。新入生たちは学びやでの新しい生活に、胸を膨らませていました。



## 4月18日 | 地元の味を一足先に

新茶シーズンの到来をPRするため、市役所ロビーで呈茶サービスが行われました。市茶業振興協会から提供された茶葉は、日本茶インストラクターらにより、一煎一煎丁寧に淹れられ、茶娘から来庁者に振る舞われました。

21日までの期間中、お年寄りから子どもまで多くの市民の皆さんが、滋味豊かな新茶の味に舌鼓を打っていました。

## トピックス

### 「Pepper」を市役所ロビーに設置



4月6日に市役所ロビーでヒト型ロボット「<sup>ペッパー</sup>Pepper」のお披露目式が行われました。ロボットの導入は、皆さんに「ICTによる教育・産業づくり推進プロジェクト」への関心を高めてもらうことを目的にしています。

Pepperは今後、来庁者を出迎えるフロア案内役として、平成32年3月まで活躍する予定です。市役所を訪れた子どもたちは、案内だけでなく愛嬌ある歌やダンスもこなすPepperに、目を輝かせて話し掛けていました。







## 4月25日 | 春の陽気と純白の景色

千葉山ハイキングコースにある、標高約 300m の尾根に広がる「どうだん原」では、ドウダンツツジの花が見頃を迎えました。

「スカイペンションどうだん」から約 15 分歩いた先には、約 8,000 本のドウダンツツジが群生しています。「ドウダン」の名の由来は灯台。スズランに似た小さく可憐な白い花は、ハイカーを導くように咲き誇っていました。

## 4月8日 | 地域で受け継ぐ伝統の舞

東光寺日吉神社の例祭において、県指定の無形民俗文化財「猿舞」が奉納されました。

東光寺地区で 300 年以上も前から伝わるこの舞は、五穀豊穡と無病息災を祈願し、地元の子どもが舞人を務めます。小猿の面を付けて雌雄の猿に扮したのは、亀山優菜さん・ほのかさん姉妹。今年 は雨天のため、山頂の社殿内で「三種の舞」を披露しました。



## トピックス

### こども館入館者数 50 万人達成



4月23日、こども館の入館者数が50万人に達し、記念セレモニーが行われました。

記念すべき入館者となったのは、磐田市から遊びに来た北井さん一家(雅也さん・真里さん・柚衣さん・那奈さん)。セレモニーで、くす玉を割って祝った後、市特産のバラの花束や新茶などの記念品が贈られました。雅也さんは「今回は5回目の利用。とてもびっくりしています。また、これからも利用したいです」と喜びを語ってくれました。